



アドウイソ・リムセ（舟こぎの踊り）などの古式舞踊を奉納

TOPIC

4

祈りを捧げ、先祖に感謝

8

1

第42回ふるさと祭 イチャルパ

白糠アイヌ協会（天内重樹会長）は「第42回ふるさと祭イチャルパ（先祖供養祭）」をウレシパチセと東山公園内のアイヌ弔魂碑広場で開催しました。

今年は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため規模を縮小し、協会関係者など約30人が参加。ウレシパチセでカムイノミ（火の神への祈り）が行われた後、東山公園へ会場を移し、ヌサオンカミ（御幣への祈り）と白糠アイヌ文化保存会による古式舞踊奉納が行われました。

TOPIC

5

殉公者の冥福を祈る

8

4

殉公者追悼式

殉公者追悼式がやまびこ会館で行われ、遺族や関係者など約50人が参列し、殉公者の冥福を祈りました。

式では、棚野町長が「本年は、町制施行70年の節目の年。改めて先人の方々への感謝を表し、さらなる町の振興と発展を希求する」と式辞を述べました。鈴木直道北海道知事（代読）、富田町議会議長の追悼の言葉の後、参列者全員が献花しました。最後に、遺族会の中河敏史会長が「平和の尊さを後世に語り継ぐことが、私たちの務め」とあいさつしました。



参列者は、それぞれの思いを胸に祭壇に花を手向けました



会議の冒頭であいさつを述べる棚野町長

TOPIC

6

よりよい返礼品を提供するために

8

7

ふるさと納税事業者会議

ふるさと納税の返礼品を提供している事業者が一堂に会する「ふるさと納税事業者会議」を開催しました。

会議では、役場ふるさと納税推進係が、納税額や件数の推移、寄付金の使い道などを報告し「寄付者とのつながりを継続していくことが大切」と話しました。

広洋水産㈱の工藤啓介さんは「事業者が連携をとることで、さらに地域が活性化できるのでは」と話していました。昨年度の寄付金額は、67億3,338万9千円で全国4位、寄付件数は46万553件で全国2位でした。